

中国と日本の新しい競争・協調関係

～モノづくりの現場から～

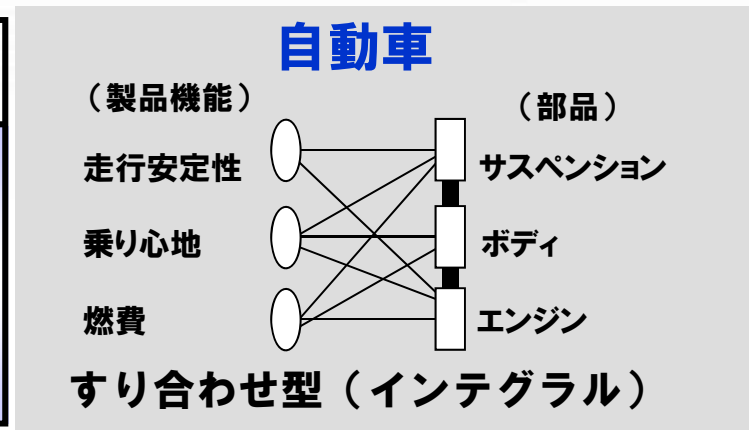
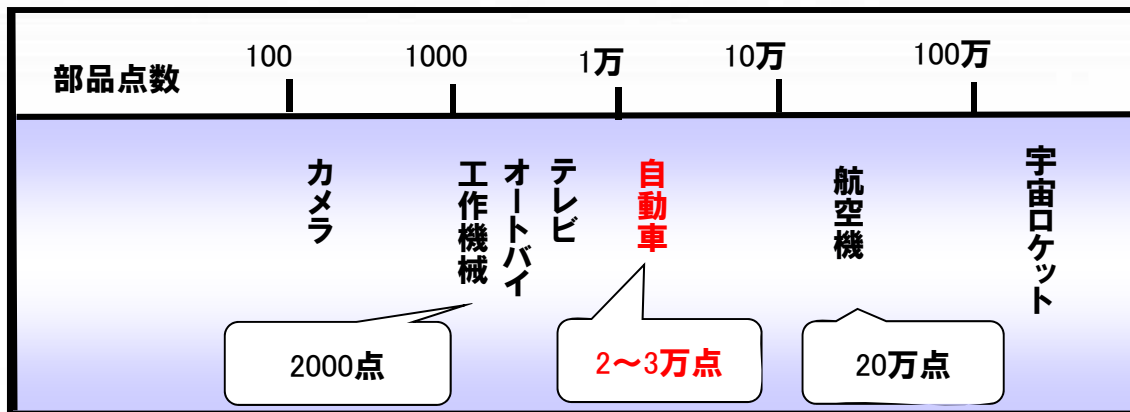
日産自動車株式会社
車両生産技術本部 新車生産技術部

執行役員 木村昌平

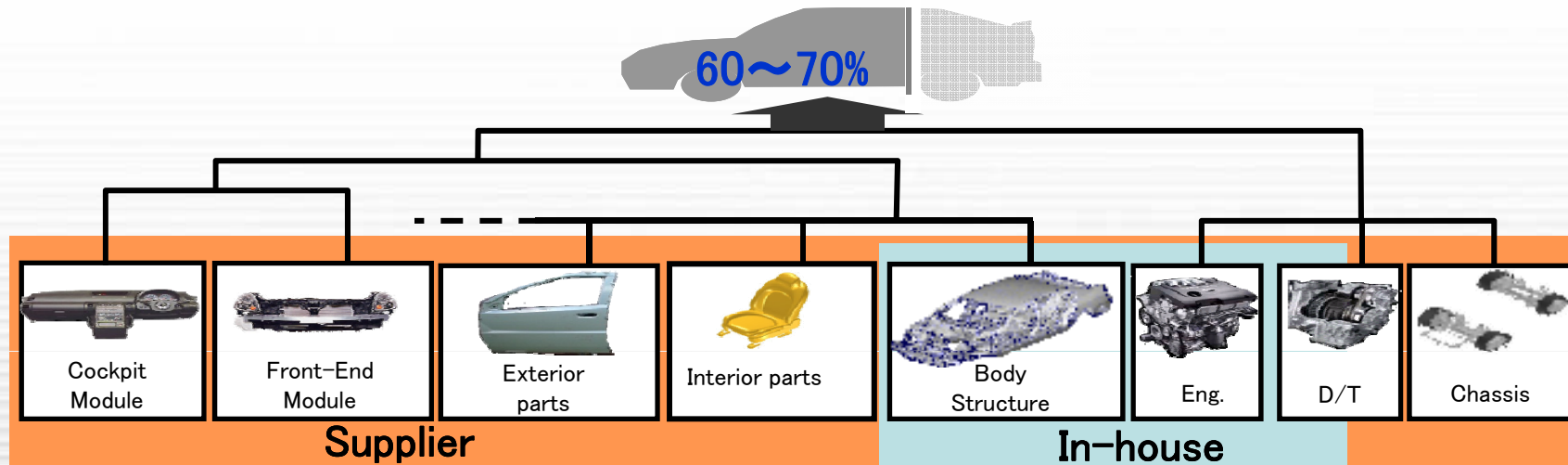
自動車開発・生産の特徴

NISSAN

- 自動車は、2~3万点の部品から構成され、部品・システムの高度なインテグレーションが必要な製品である。

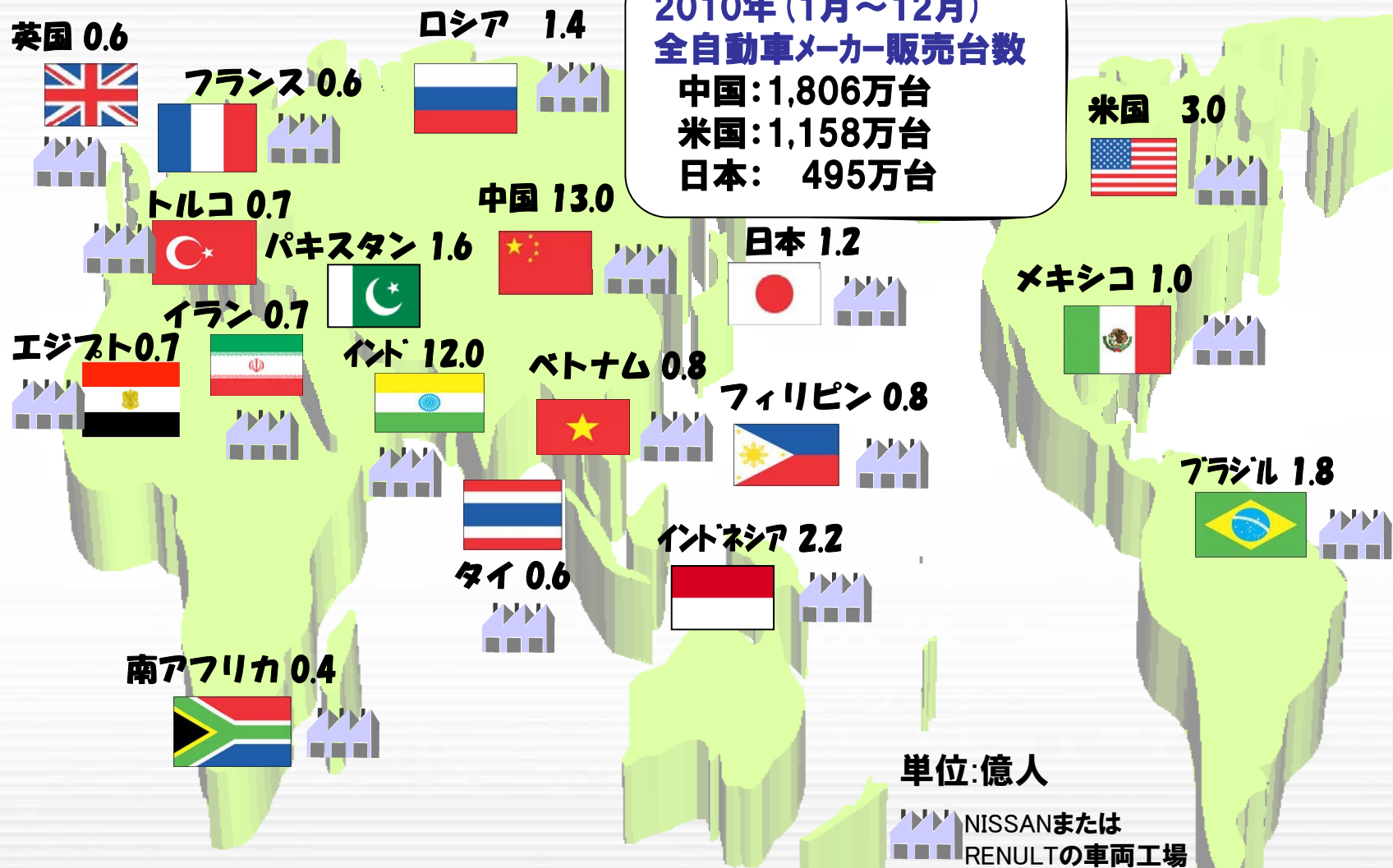


- クルマの 60 ~ 70% の部品はサプライヤによって作られる。



■ 世界各国の人口

NISSAN



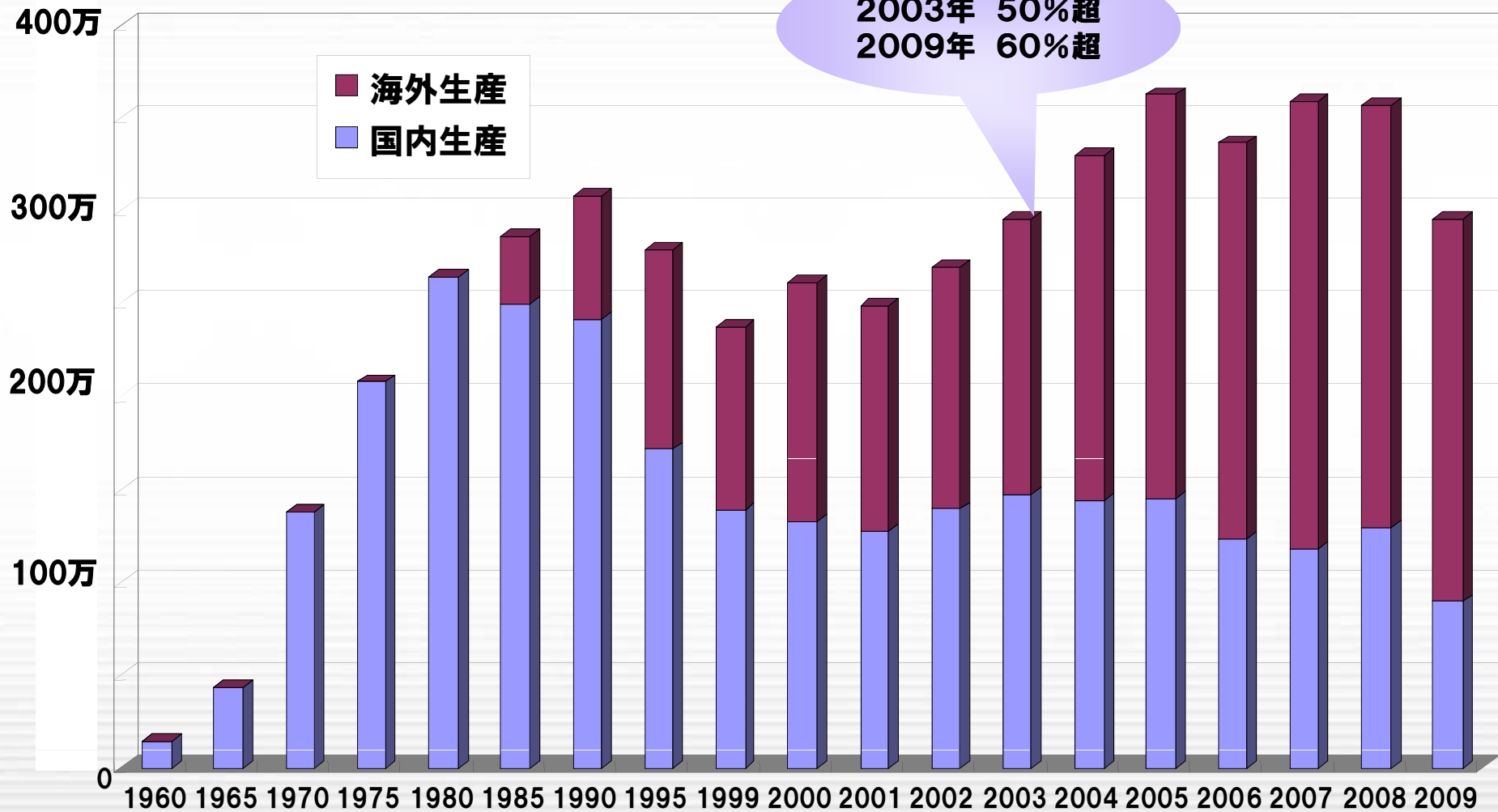
BRICs, VISTA, Next Eleven.....



生産のグローバル化

NISSAN

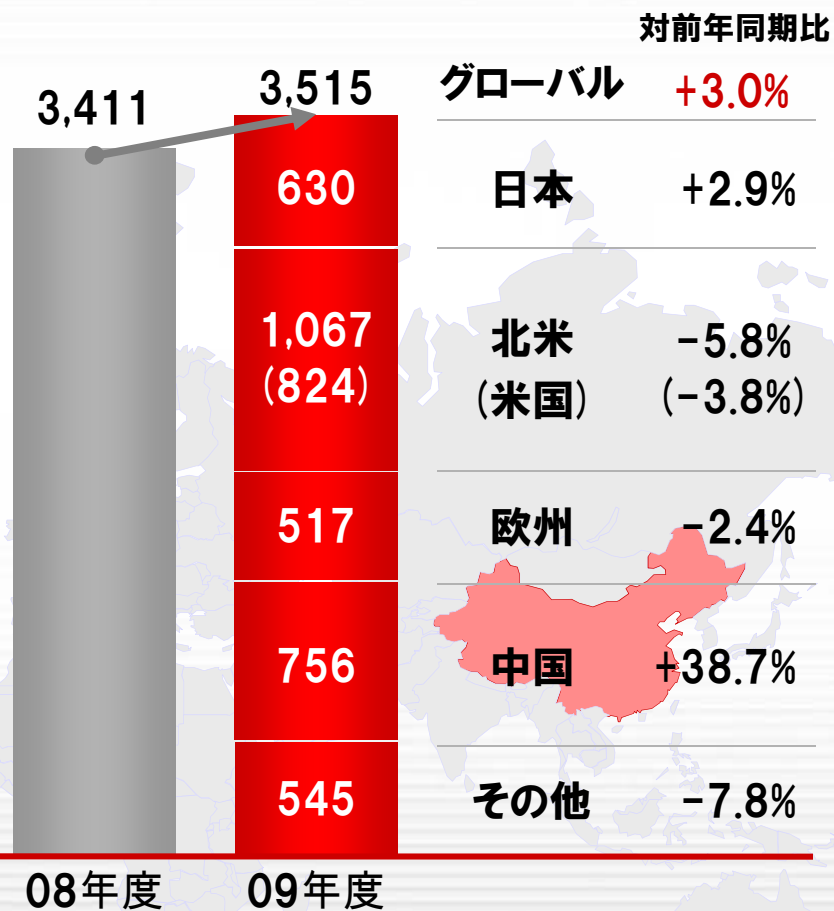
日産自動車 生産実績（台）



新興国市場の急激な拡大

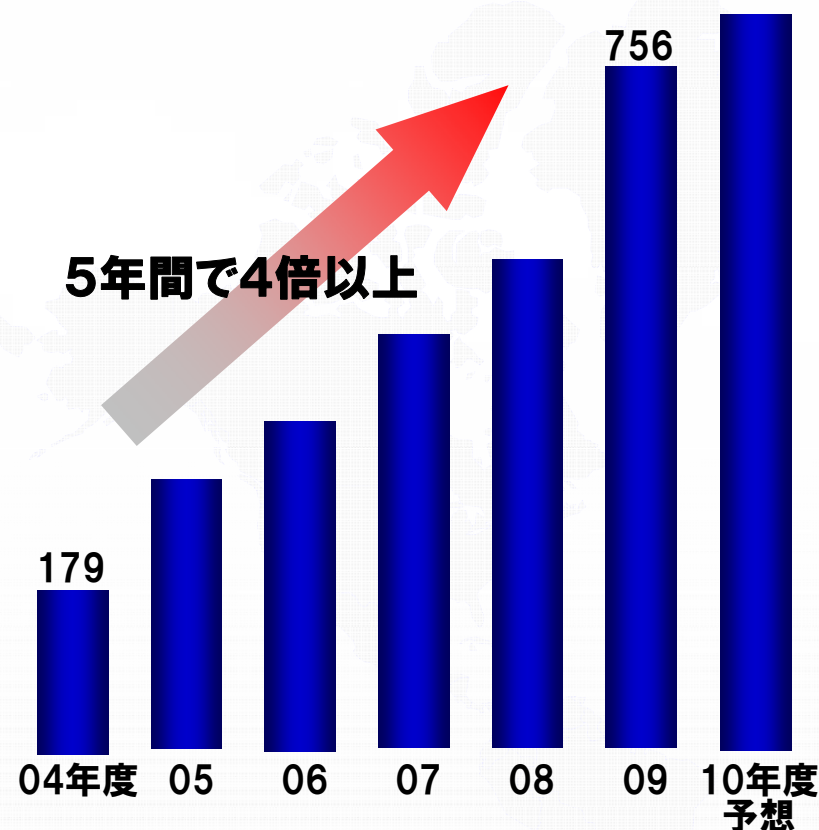
NISSAN

グローバル販売台数 (千台)



中国での販売台数 (千台)

2010年1月～12月 中国全体需要 1,806万台
 2010年1月～12月 当社販売台数 102万台 (東風ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ含む)



自動車生産の特徴と変質

NISSAN

自動車は進歩する技術の入れ物、総合技術の結集

～インテグレート、すり合わせ技術、サプライヤーとの協業

コミュニケーションスピードと地域ニーズの多様性

～グローバルカーの同時生産、ユニークモデル（ガラパゴス化）



グローバルに拡大する開発・生産

～新たな市場への急激な拡大と現地化

～日本のモノ造り再構築（日本の役割？）



環境技術と安全技術の熾烈な競争



■ グローバル展開のステップ

NISSAN

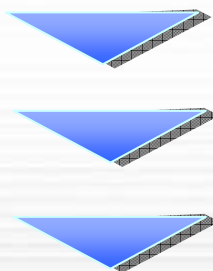
現行車のノックダウン(KD)生産

部品の国産化

グローバルカーの生産



グローバルモデル（海外マザー）



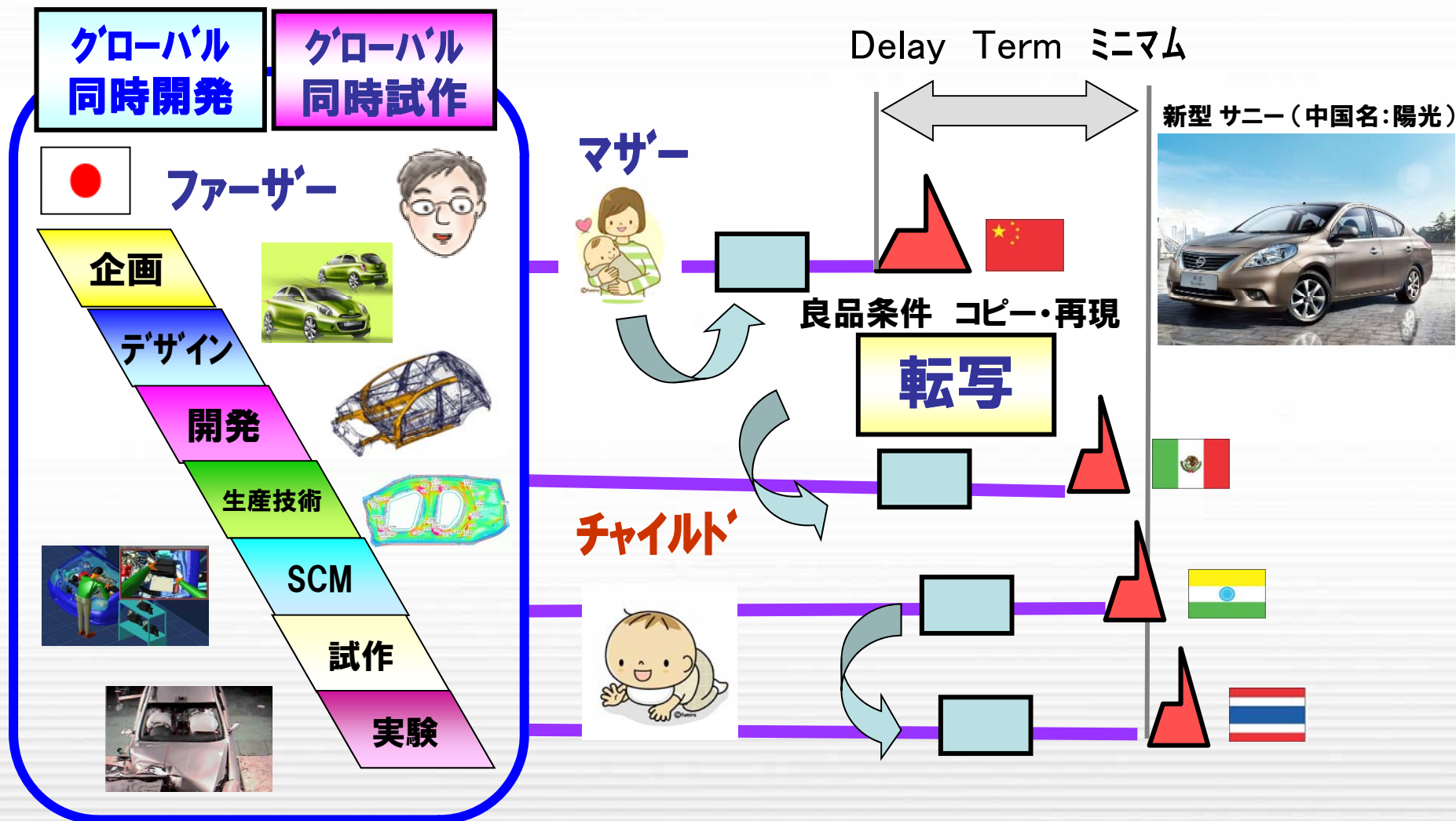
ユニークモデル（現地開発・生産）

現地専用モデルの現地開発、生産

グローバルカーの開発・生産

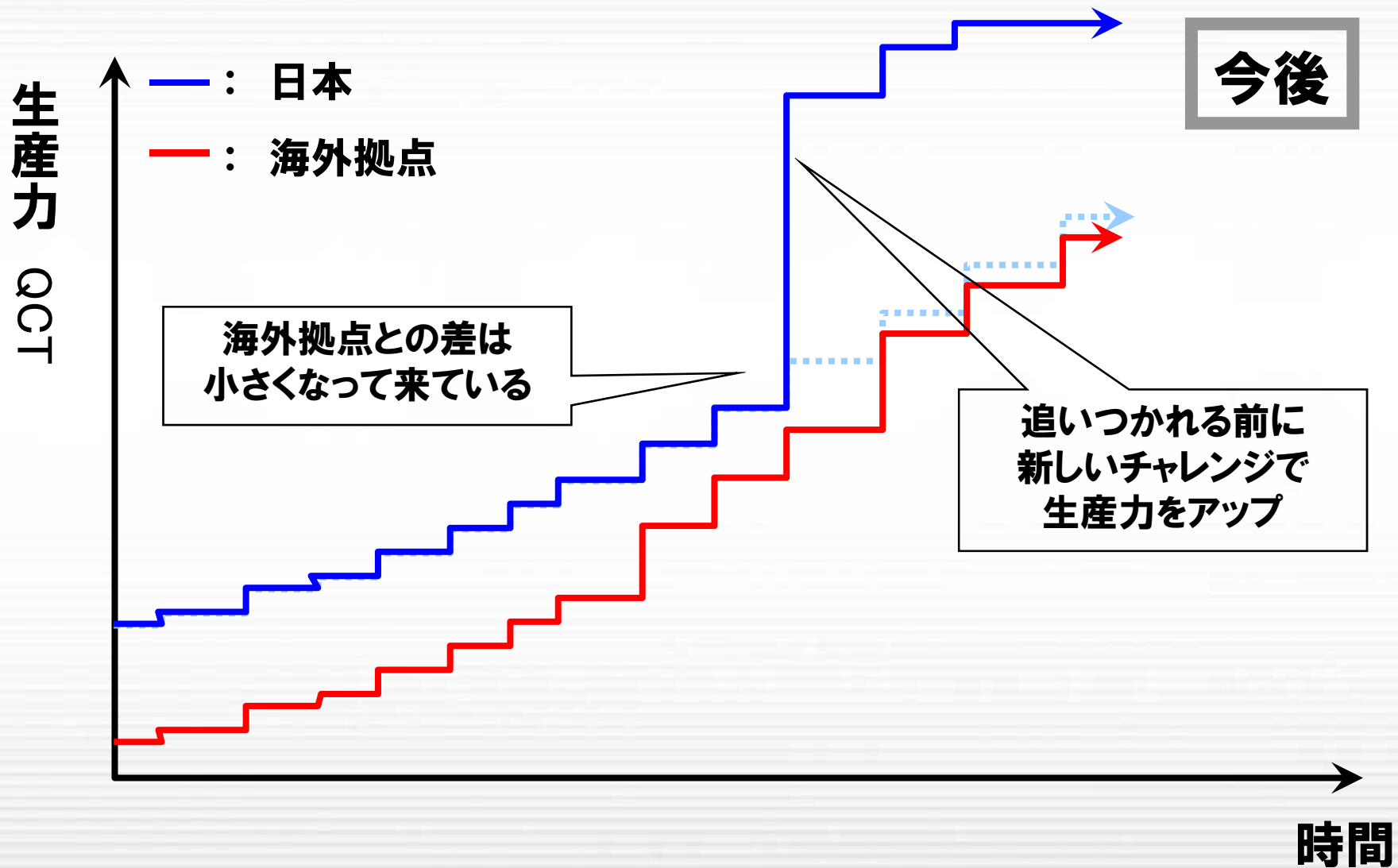
NISSAN

- ✓ グローバル生産・販売前提のコンカレントエンジニアリング
- ✓ グローバル同時試作による すり合わせ、良品条件決定



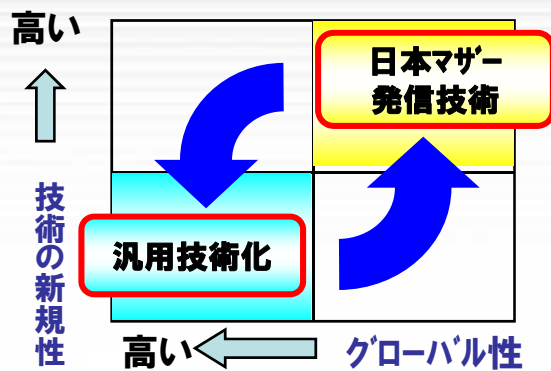
■ 日本のチャレンジ

NISSAN



■ グローバル化における日本の役割

NISSAN



拡大蓄積 (Web)

集中蓄積 (Core)

再ブレークスルー

徹底した競争、改革

加速的改善

ブレークスルー

拡大蓄積型
現地自立・改善力育成
インターナルベンチマーク

集中蓄積型
ノウハウのインテグレート
パッケージで移植

拡大消耗型
日本からの支援⇒限界

**双方向
エンジニアリング**





ご清聴ありがとうございました。